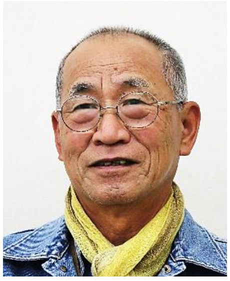
会員のひろば

■ 生徒さんから元気をもらう　滝の鼻・中久保田　奥田宗三郎



私がシルバー人材センターに入会して最初に就労したのは、精華中学校の校務員でした。学校という教育現場での校内軽作業とはいえ、果たして私に務まるのかたいへん不安でした。とりあえず一日にどんな作業をするのか、下見を兼ねて見させてほしいとお願いし、就労されている方に朝から一日、作業内容の説明を受けながら随伴させていただきました。また、女性目線だけでなく男性目線での作業内容も見ておきたいので、その当時の男性校務員さんにもお願いし随伴させていただきました。お二人とも作業内容と手順をていねいに説明してくださって、不安はあるがやるだけやってみよう、と決意し就労することにしました。

就労内容は日常的な作業手順のほかに、春の卒業・入学式、夏・秋・冬とそれぞれのシーズンごとの作業をひととおり経験することが、よりよい就労が提供できるのではないかと思います。また、校務員同士の「連絡帳」で学校からの連絡事項の周知やお互いの情報交換・意思疎通を行い、就労での齟齬がないように努めております。

会員になってまる５年、現在は精華中学校で就労しております。毎日、孫のような生徒さんたちから、「おっちゃん頑張りや」「おじさんご苦労さまです」「いつもきれいに掃除をしていただきありがとうございます」と声をかけてくれます。そのような生徒さんたちの元気な挨拶や声掛けで、こちらが元気をもらい楽しく就労させていただいております。

■ 清掃作業と健康維持　菱田　加納博美

１０年前、退職と同時にハローワークへ行き、第二の職場を求めて就職活動をしましたが、これまでの経験を活かせる仕事はありませんでした。そのとき、精華町シルバー人材センターに入会したのです。

シルバー人材センターにお世話になり今年で８年を迎えます。仕事は役場の清掃作業一筋です。今年はコロナ禍で清掃前のラジオ体操が中止となりましたが、自分自身の健康な体の維持のため、引続き体操は続けています。

週に３日、１階から６階までの各フロアー、各部屋、そして各トイレの掃除とゴミ上げなどを手分けして頑張っています。仕事が終わればミーティングをしますが、その日のストレスは、皆さんとワイワイにぎやかに雑談等をして、その日のうちに発散します。

健康の源は、ストレッチと自転車での日々の体力づくりで、その後に仕事に向かいます。また家庭菜園や花づくり、針金アート、料理などの趣味もあります。特に家庭菜園や花づくりは、種から育ててそれぞれの成長を見守り、最後に収穫することがたいへん楽しみです。

どのようなことも前向きに考えて、自分らしく生活していきたいと考えています。

１日の仕事が終わると、改めて末永く、健康でお世話になり続けたいと思う日々です。

❖目からウロコの楽々整理術セミナー開催<京都府シルバー人材センター連絡会主催>❖

令和２年１０月２１日（水）１３：３０～１５：００、当センター多目的室で、京都府シルバー人材センター連合会主催の女性限定「目からウロコの楽々整理術セミナー」が開催されました。

１８名の方にご参加いただき、講師のすぐに実践する方法など、参加者の皆さまはメモを取りながら熱心に聞いておられました。